

今後、熱海市の会議開催(火曜、金曜)
に合わせて、報道提供いたします。

下線部：前報からの追加・変更箇所

※時刻は24時間表示とする。

<報道提供>

令和3年8月3日
危機報道官
054-221-2316

(件名) 熱海伊豆山地区の土石流の発生について (第41報)

(8月3日 19時00分現在)

(静岡県災害対策本部)

1 概況

7月3日、熱海市伊豆山地区において発生した土石流は、逢初川の源頭部の標高約390m地点(海岸から約2km上流)から、逢初川を流下した。土石流により被災した範囲は、延長約1km、最大幅約120mにわたる。

2 災害対策に係る法令適用

- 3日12:00 県災害対策本部を設置
自衛隊に派遣要請
- 13:30 消防庁に緊急消防援助隊の出動要請
- 15:30 災害救助法の適用を公示
- 9日 被災者生活再建支援法の適用を公示
- 23日16:30 緊急消防援助隊の順次引揚げ
- 31日12:00 自衛隊災害派遣部隊撤収

3 人的・物的被害の状況

(1) 人的被害

(※)「行方不明者」「死者」の区分名は、「消防庁災害報告取扱要領」による区分)

- 死者：22名
- 行方不明者：5名
- 中等症：3名
- その他：25名
- 避難者：291名
 - ・金城館183名
 - ・ウオミサキホテル108名

(2) 物的被害

被害棟数：131棟(128世帯、216名)

4 ライフライン等の状況

○水道

区 分	件 数
今後の復旧について所有者と協議が必要な件数	45件
復旧不能件数	114件

※上表以外の家屋は復旧済み

○電気、通信、ガス

被災家屋以外は復旧済

○道路

路 線	区 間	規 制 状 況
国道135号	熱海市東海岸町（ビーチライン入口）～神奈川県境(門川交差点)	通行止めを解除 (7/29 15:00) 当面の間、下記いずれかを観測した場合は通行止め。 ①降雨量：時間雨量10mm以上または連続雨量50mm以上 ②地盤伸縮計：移動量2mm/h以上
熱海ビーチライン	全線	7/30から通常どおり有料通行
伊豆スカイライン	全線	8/8まで(オリンピック期間中) 無料開放。

○路線バス

路 線	区 間	規 制 状 況
東海バス 熱海駅～伊豆山・湯河原駅線	熱海駅～伊豆山・湯河原駅	<ul style="list-style-type: none"> ・熱海駅～湯河原駅は再開 ・熱海駅～伊豆山折り返し便は運休(当面の間)
東海バス 七尾原循環	熱海駅～熱海駅 伊豆山神社前、七尾団地、七尾原経由 (熱海ビーチライン経由)	<ul style="list-style-type: none"> ・一部経路を変更し運行中 ・桃山～伊豆山小学校間は運休(当面の間)

路線	区間	規制状況
東海バス 伊豆山循環 紅葉ヶ丘～郵便局・熱海駅	紅葉ヶ丘～熱海駅	紅葉ヶ丘～熱海郵便局～熱海駅間運行中 熱海駅～逢初橋・小学校入口・伊豆山神社前～熱海駅は運休(当面の間)
東海バス 伊豆山循環 熱海駅～紅葉ヶ丘・ひばりヶ丘線	熱海駅～紅葉ヶ丘／ひばりヶ丘	熱海駅～咲見町～紅葉ヶ丘／ひばりヶ丘間運行中 熱海駅～伊豆山神社前・小学校入口・逢初橋～熱海駅は運休(当面の間)

5 主な生活再建支援

(1) 被災者への応急的な住宅確保

○公営住宅

第1回募集（7月30日～8月4日）で44戸、第2回（8月中旬予定）で58戸の入居者を募集予定。

○民間賃貸住宅

7月30日から申込みを随時受付中。（74戸提供可能。引き続き調査を続け、今後増減あり。）

○熱海市総合福祉センター3階に受付窓口を設置

(2) 被災者相談窓口の開設等について

○開設状況

特設窓口 令和3年7月26日(月)～8月10日(火)

午前9時～午後4時（土日祝日は午前9時～正午）

場 所 熱海市総合福祉センター3階(被災者相談窓口内)

○り災証明書の発行 8月2日(月)現在

受付 15件(累計188件)、発行6件(累計113件)

○被災者生活再建支援制度等申請・相談件数8月2日(月)現在

申請・相談 2件(累計39件)

○生活相談ブース相談件数 8月2日(月)現在

相談件数 12件(累計99件)

(3) 災害ボランティア

7月21日からの累計146名（8月2日まで）

6 県及び市町の職員派遣状況

住家被害認定調査、罹災証明交付、避難者の健康管理の支援等のため、熱海市に対して県職員及び県内市町職員を以下のとおり派遣。

県 13名、市町 30名（20市町） 計43名（8月3日）

7 関係機関の派遣状況

○自衛隊

- ・7月3日から7月29日までの活動実績

被災現場における活動人員等：延べ約9,340名

○消防

- ・8月2日の活動状況

区分	活動隊	活動人数	備考
県内	熱海市消防本部	85名	被災現場等で活動中
	熱海市消防団	180名	
	静岡県大隊	約40隊 (約160名)	警察、自衛隊、民間、と協力し被災現場で活動中
合計		約425名	

※ 8月3日15時をもって静岡県大隊活動終了

- ・7月3日から7月31日までの活動実績

熱海消防 2,465名（常備消防）、5,220名（消防団）

県内応援部隊 4,682名（1,319部隊）

緊急消防援助隊 7,843名（1,744部隊）

合計 20,210名

○警察

- ・8月3日の活動状況

区分	人数	備考
県警	約50名	県機動隊、方面機動隊

- ・7月3日から7月31日までの活動実績

被災現場における活動人員等：延べ約12,200名

○海上保安庁

- ・巡視艇またはゴムボートによる捜索

○その他の関係機関の活動状況

機関名	活動状況
法務省矯正局特別機動警備隊	<ul style="list-style-type: none"> 7/18～矯正局特別機動警備隊長以下19名及び車両2台派遣 7/18～伊豆山地区の搜索活動エリア近辺の交通規制及び立入制限区域の規制等の支援活動 8/1～隊長以下16名体制（車両2台） <u>8/3正午をもって支援活動終了</u>
国土交通省中部地方整備局	<ul style="list-style-type: none"> 7/21～熱海土木事務所へ緊急砂防対策チーム派遣（8/3：1名） 7/3～熱海市へリエゾン派遣（8/3：2名）既設堰堤の除石のための進入路工事継続中
静岡地方気象台	<ul style="list-style-type: none"> 熱海市災対本部会議等で気象解説を実施 アメダス臨時観測点「熱海伊豆山」運用
静岡県公認心理師協会、静岡県精神保健福祉士協会	<u>避難者の精神面での健康管理のため、公認心理師（7/20～）及び精神保健福祉士（8/3～）を「こころのケアチーム」として派遣</u>
静岡県建設業協会	<p><災害応急対策></p> <ul style="list-style-type: none"> 重機による土砂、瓦礫の撤去・運搬（熱海港埋立地へ） 泥状土砂の固化処理 伊豆山港における堆積土の状況調査
環境省	関東地方環境事務所から熱海市へ <u>不定期に複数職員を派遣</u> （災害廃棄物処理に関する助言）
静岡県産業廃棄物協会	県との協定（地震等大規模災害時における災害廃棄物の処理等に関する協定）に基づき、災害廃棄物仮置場の運営、 <u>処理</u> を実施中。

8 参考（義援金）

機関名	概要
日本赤十字社静岡県支部及び静岡県	<p>期間：7月9日～10月31日</p> <p>方法：静岡銀行への振込</p>
社会福祉法人静岡県共同募金会	<p>期間：7月8日～10月29日</p> <p>方法：ゆうちょ銀行への振込</p>
熱海市	<p>期間：7月5日～</p> <p>方法：三島信用金庫・静岡銀行へ振込、ふるさと納税、熱海市役所義援金箱</p>